

【麻布地区サロンが目指していること】

- ・高齢者のニーズにこたえる豊富なプログラムを実施する（手作り作品、音楽・落語などの鑑賞、ゲームや運動、地域を学ぶ、など）
- ・サロン開催を地域住民に広く知ってもらう
- ・高齢者が不安や困りごとを安心して話せるような雰囲気をつくる
- ・サロンで話された課題などを専門相談機関に橋渡しをして連携する
- ・高齢者が得意なことを活かすなど、活躍の場をつくる
- ・引きこもりがちな高齢者に町会・自治会、老人クラブ、民生・児童委員などが声をかけ、サロンへ同行する
- ・地域で活躍する団体、ボランティアが「地域の目」となり、高齢者を気にかける

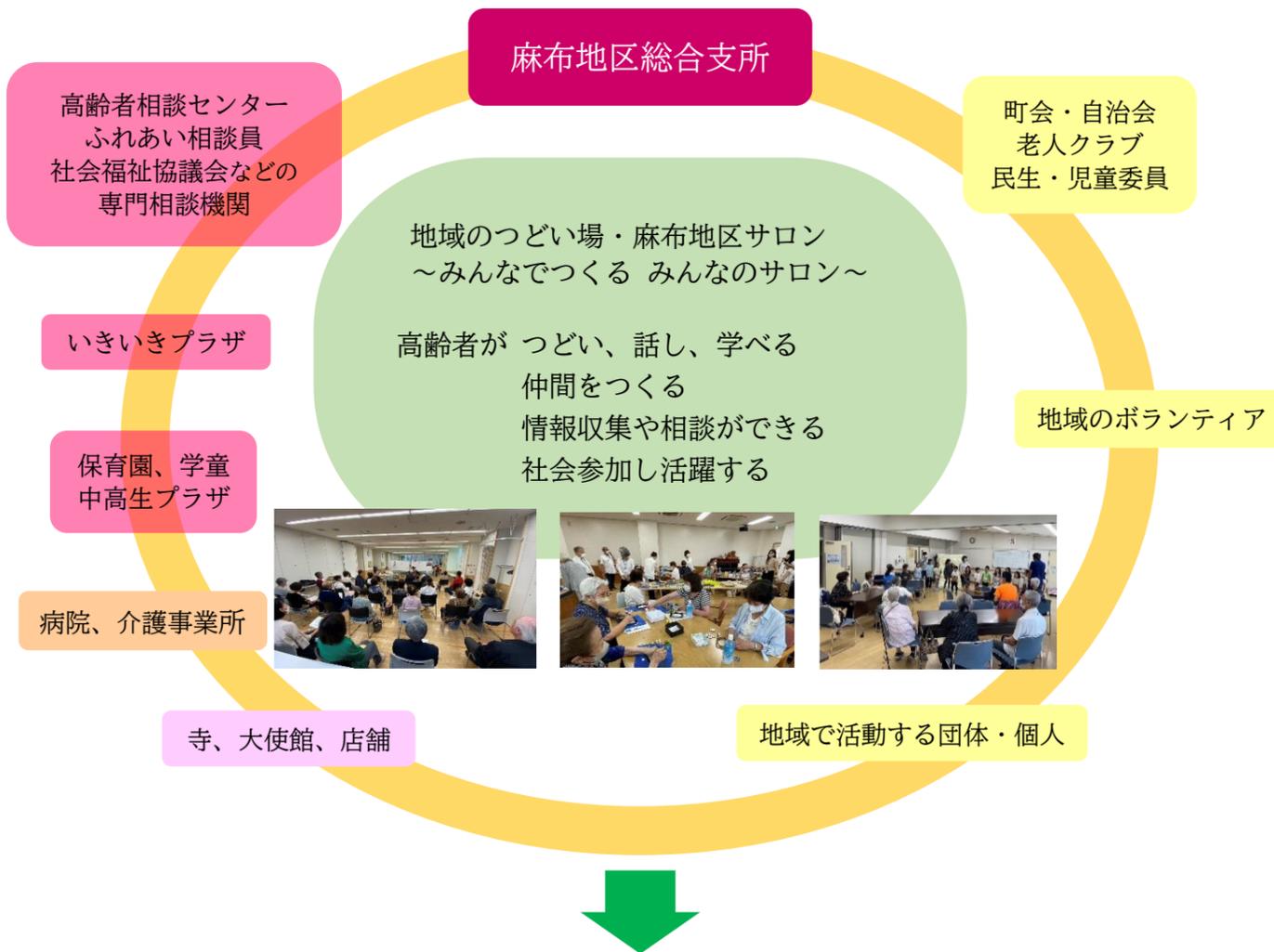


【麻布地区サロンが目指す将来像】

- ・高齢者のニーズに合ったさらなるプログラムの充実を図る
- ・サロンの参加者を増やす
- ・地域の誰もが参加し交流できる多世代のサロンを目指す
- ・お互いがお互いを気にかける意識づくりをし「地域の目」となり、変化に気づき合える地域を目指していく
- ・ボランティアや地域の高齢者が自主運営するサロンの立ち上げを目指す
- ・高齢者が自身の健康問題や認知症予防について学べる環境をつくり参加を促す
- ・ボランティアネットワークをつくり、速やかに連携が図れるようにする

【目的】

- ・高齢者が住み慣れた地域で孤立することなく安心していきいきと生活できるようにする
- ・気軽に参加でき、興味を持てる多彩なプログラムの実施や交流の場を開催する
- ・地域で活躍するボランティアを養成し、互いに支え合う仕組みをつくる



高齢者が自分らしく生きがいや役割を持ち、
特技を活かしていきいきと健康で活躍できる
お互いがお互いを支え合える



安心して豊かに住み続けられる街づくり
となり近所がつながりを持つ
防災・防犯の備えのある街
気軽に行けるつどい場がある街

【麻布地区サロンを広く知ってもらうために】

<人から人への拡がり>

- ・参加者からの案内
- ・ボランティアからの案内
- ・地域で活躍する団体からの案内
- ・専門相談機関からの案内
- ・町会・自治会、老人クラブ、民生・児童委員などからの案内

<様々な広報手段の活用による拡がり>

- ・チラシの配布先や、ポスターの掲示箇所を増やす
- ・ホームページやSNSなど活用して、速やかに多世代に周知する

【麻布地区サロン事業にのぞむ基本姿勢】

<大切にしていること>

- ・高齢者に対し、誠実に尊敬の念を持って接し、傾聴の姿勢のもと、信頼関係を築くように努める
- ・高齢者に対し、画一的な見方をせず柔軟性を持って接する
- ・個人情報を守る
- ・高齢者施策、高齢者の特性、傾聴などについて内部研修を実施し、スキルアップを図る
- ・従事者の心身のケアに注力し、前向きで積極的な気持ちで業務を推進できるよう努める

<円滑な事業運営のために>

- ・事業は高齢者を支援する豊富な経験と専門知識を持った従事者が複数で対応する
- ・サロン開催の事前と事後にミーティングを開ききめ細かい打ち合わせを行う
- ・法人は多職種の役員から構成されており、それぞれの視点に基づいた指導により、業務を効率的に推進する